



Salacia Reticulata Bark Extract Powder

サラシアエキス末

アーユルヴェーダからの食歴史

サラシアとは、インドやスリランカの熱帯雨林に自生する、ニシキギ科のツル性樹木です。古来より、サラシアの樹皮や根皮は糖尿病患者の血糖値を降下させ、口渴を癒すことが経験的に知られており、伝承医学「アーユルヴェーダ」で古くから利用されてきました^{1), 2)}。

近年では臨床、動物実験の結果から、サラシアが持つ糖質や脂質の吸収を抑制するメカニズムや効果・効能の一部が科学的に解明・証明されています^{3), 4)}。



サラシアの木

糖質の吸収を抑制

臨床実験において境界型および軽度の2型糖尿病患者に対してサラシアの水抽出物を6週間摂取させたところ、症状が改善されたという報告²⁾の他、動物実験及び臨床実験においてサラシアの血糖値上昇の抑制や糖尿病の症状改善に関する報告が数多くされています。これらの効果・効能のメカニズムは十分に明らかとなっていませんが、サラシアに含まれるサラシノールという成分には α -グルコシダーゼ阻害活性（糖の吸収を穏やかにする効果）があり、これに起因するのではないかとされています³⁾。

体脂肪の気になる方にも

糖とともに脂肪の吸収についても抑制効果が示唆されています。マウスを使った動物実験において、内臓脂肪の増加抑制効果が見られたとの報告があります⁴⁾。同報告では、サラシア抽出物が脂肪細胞由来のホルモンに関与し、内臓脂肪量の減少につながる可能性を示唆しており、今後さらなるメカニズムの解明と応用が期待されます。

品質規格

品質規格	
製品名	サラシアエキス末
学名	<i>Salacia reticulata</i>
表示例	サラシアエキス、マルトデキストリン
産地/製造国	インド
性状	赤褐色粉末
区分	食品
品質保証期間	製造後3年
包装	5kg、25kg
総サボニン量	≥20%

参考文献

- 1) 下田他, 日本栄養・食糧学会誌, 53(4), 149-154 (2000)
- 2) 梶本他, 日本栄養・食糧学会誌, 53(5), 199-205 (2000)
- 3) 吉川, 化学と生物, 40(3), 172-178 (2002)
- 4) Kishino, E. et al., *The Journal of Nutrition*, 136(2), 433-439 (2006)